

夢のつばさ♥プロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体によって進められている事業です。



2018年春の交流会



【実施期間】 2018年3月25日（日）

【開催地】 仙台市：宮城野区中央市民センター、生涯学習支援センター

【参加内訳】 小学生12名、中学生4名、高校生2名、専門学校生1名、学生ボランティアスタッフ20名（OB/OG含む）、社会人スタッフ3名

【活動概要】

夢のつばさプロジェクトの春の交流会は今回で6回目となりました。当日の朝は曇り空で天候が心配されましたが、雨が降ることもなく、元気な19名の子ども達と賑やかな一日を過ごすことができました。

今回は、いつもはあまり一緒に遊んでいない子ども同士の交流を深めるという目標のもとに活動を行いました。午前中のお菓子作り企画では、グループに分かれて、まずはたこ焼き器でベビーカステラを作りました。その後、グループの仲間と一緒に、謎々を解きながらトッピングの材料を獲得して、それぞれチョコペンやマーブルチョコなどで飾り付けを楽しみました。年上の子が小さい子を手伝いながら、協力してカステラを作ったり、楽しそうに謎々を考えたり、トッピングをゲットして皆で大喜びしたり、さまざまな会話ややりとりがみられました。

この間、学生の代表たちと社会人スタッフは、生涯学習支援センターで保護者の方たちと懇談の時間を持ちました。夢のつばさの活動では、優しく面倒見がよく、周りに頼りにされている子の保護者の方から、学校では



なかなか自分が出せない様子だという話を伺いました。「家庭や学校とも違う場があることで、子どもの多面的な成長も促される」「いつも楽しみに参加しているが、夢のつばさという活躍する機会があって、本人もうれしいのではないかな」というお話が出ていました。また、「スマホやゲーム機のルールを、再度、夢のつばさで子どもたちに話してほしい」という要望も出されました。「宿泊行事の間は、保護者にとっても一息つける日々となっている」というお話も伺い、毎日、仕事と子育てで、心の休まる暇のないひとり親の方などのご苦勞を感じ、少しでも役にたてることをうれしく思いました。

子どもたちは、午後は生涯学習支援センターに移動し、チームを変えてミニ運動会を行いました。2人3脚や借りもの（増脚）競争、3人4脚など、声をかけ合いながら、息を合わせてゴールを目指して競走し、あちこちで笑い声や声援が飛び交いました。最後はボール運びやドリブルなどを組み合わせたリレーを行い、大熱戦を繰り広げました。



一日を通して楽しい時間を共有して、子ども達は一層仲良くなった様子でした。こうしたつながりを今後もさらに深めて、子ども達にとって、夢のつばさがさらに温かで自分を育む場となっていけるよう、スタッフ一同、力を合わせて努力して参ります。いつも皆様が懐深くお支えくださいますことを心より感謝申し上げます。今後ともご支援をよろしくお願い致します。

（夢のつばさ♥プロジェクト）

ご寄附のお願い

【口座】 三井住友銀行 大塚支店（店番号227）普通1284200

【名称】 特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子 ※ 夢のつばさプロジェクトの専用口座です。

ご寄附いただく際には、ご芳名、ご住所（連絡先）を下記までお知らせください。

※ 恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください。

連絡先：事務担当 滝澤公子 TEL&FAX：03-5978-5362 Email：tsubasa@npo-ochanomizu.org